

令和5年度 大田区徳持小学校学校経営方針

1 立案にあたり

(1) 学校の使命（プロとして教育に携わるものとしての使命）

未来を担う（未来を託す）子供たちの可能性を高め、健やかな成長を支えること。

(2) 今学校に求められていること

令和2年2月に始まった全国一斉休校を機に、学校教育は様々な変革・改善が求められてきました。「GIGA スクール構想」の前倒し、そしてこれまでの日本型学校教育のよさを生かしながらも新たな価値を目指した「令和の日本型教育」です。

その教育の目指すところは、予測困難な時代をたくましく生き抜き、多様性を理解・尊重し共生社会の作り手となり、持続可能な社会の作り手となる子供たちの育成です。

【短期目標】 1～3ヶ月

- ・学級開きやルール作りを大切にし、徳持スタンダードによる学習規律・生活規律の徹底。学級経営の充実、安心できる居場所のある学級、教師、子供、子供同士の温かな関わり。

【中期目標】 3ヶ月～1年

- ・個に応じた「分かる・できる」授業の展開
- ・児童一人一台の端末を学用品として毎日活用
- ・道徳教育の充実
- ・いじめの未然防止、早期発見、早期解決
- ・生活指導上課題のある児童については情報を共有した上で、学年で指導・支援、さらに生活指導部→管理職という組織的対応を構築
- ・特別活動等、子供の自治的な活動の充実

【長期目標】 1年～2年

- ・いじめや不登校のない学校。
- ・全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適化な学びと協働的な学びの実現
- ・学びのスタイルを「知的習得型」から「価値創造・課題解決型」へ
- ・6年生のリーダーとしての姿を見て、下級生が憧れと尊敬の念をもち、6年生はリーダーとしての姿を残して巣立つことで徳持小としての伝統を築き、75周年、80周年へと継承していく。

(3) コロナ禍で前例のない中で生まれた知恵と工夫を、今後も教職員が常に

自分事として捉え、学校の使命の実現に向け主体的に教育に携わり行動する。

2 学校経営方針

全ての子供が笑顔で生き生きと学ぶ学校の実現に向けて

夢を育む感動体験を経験することにより

- ① もっとしりたい！もっと学びたい！という「好奇心」
- ② もっとできるようになりたい！もっとよくなりたい！という「向上心」
- ③ もっとみんなと共に活動したい！もっとみんなの役にたちたい！という「公共心」
を育み、確かな学力と思いやりの心を身につけさせる。

(1) 学校教育目標

社会構造や生活様式が急速に変化する「予測困難な時代」をたくましく生きる日本人とし持続可能な社会の実現に向けて、多様性を理解・尊重し、自ら課題を解決する力や豊かな人間性、社会性の基礎を培う。

考える子 やさしい子 つよい子

(2) 目指す児童像

- すすんであいさつや返事ができる子
- 目標をもち、努力を続ける子
- 自他のよさを認め、自分も友達も大切にできる子
- 感謝の念をもち、自分にできることを返していく子

(3) 目指す教師像

- 子供一人一人を大切にし、温かく熱意のある指導ができる教師
- 日々向上心をもち、授業で勝負をする教師
- 子供の成長を喜び、教師としての職務にやりがいと誇りをもてる教師

(4) 目指す学校

ともだちみんなで くふうしあって もてる力を ちからいっぱい出せる学校

☆子供たちの笑顔と喜びがあふれ、活力ある誇れる学校

「すすんで学び、分かる・できる喜び」「関わる喜び」「認められる喜び」「成長する喜び」が味わえる学校

☆保護者・地域が信頼をよせ、誇れる安心・安全な学校

安全管理が徹底され、いじめや不登校、体罰、サービス事故のない学校。

☆教職員が誇りをもって生き生きと働く学校

子供の成長を共に喜び、切磋琢磨し合える教師集団が協働する学校。

(4) 教育目標の具現化に向けた3つの柱

① キャリア教育の充実

各教科・領域の指導を通して、将来自立した人間として社会参画、社会貢献することで自己実現を図れる力を育てる。10年後20年後は現在ある職業の半数はAIにとって変わられ、今の子供のうち65%は現在ない職業に就くと言われているが、自ら課題を見付け解決する力や人間関係を構築する力は、予測困難な時代を生き抜く力となる。

○学習規律の定着（徳持スタンダードの徹底）

○一人一台の情報端末の活用を推進し、児童に確かな学力（基礎的・基本的な学習）を定着。

○新学習指導要領に基づく指導の充実を図ります。（主体的・対話的な学習、地域や企業と連携した学習、プログラミング教育、職業に関わる教育）。

○家庭・地域・企業と連携した学習の推進。

○個に応じた指導を行い習熟度別指導（算数）、問題解決学習・ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業や体験活動の充実

○理科指導専門員・理科支援員による科学教育の充実。

○保幼小中連携教育の充実を図り、キャリアパスポートを活用。

○読書目標の設定（読書月間を年に2回実施）

○家庭学習の習慣化

② 人権教育の充実

○児童を第一に考えた、親身で温かな指導による学年・学級づくり

○規範意識の向上（徳持スタンダード・規範意識向上プログラムの活用）

○挨拶運動の実施

○異学年交流（きょうだいクラス活動・登校班・クラブ活動）

○校内委員会を核とした特別支援委員会の充実

○幼稚園・保育園・中学校・高齢者との交流、障害者理解、異文化理解による心のバリアフリー

○定期的な「いじめアンケート」を実施し、「いじめ防止対策委員会」による未然防止と早期発見・早期解決

○生命尊重の指導、認め、ほめる指導による自他を大切にできる心情・態度。

○自己肯定感・自尊感情の育成

③ 健康教育の充実

○家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」月間と歯磨き指導

○長縄、短縄、持久走（マラソン月間・校内マラソン）等の全校取組と体育的活動の充実

○体育・健康教育授業地区公開講座の実施

- 大田区小学校駅伝大会への取組
- 都体力調査の実施
- 保健指導・保健学習・学校保健委員会、がん教育による健康指導の充実
- 食への理解による食育の充実

以上3点を重点に、教職員が協働し、徳持小の魅力ある環境づくりである「家庭・地域の連携」「安心安全の向上」「特別支援教育の充実」「教職員の向上」を大切に、児童・教職員、保護者・地域が誇れる学校創りを進める。



「全ての子どもが笑顔で生き生きと学ぶ学校」の実現に向けて

学校の使命（プロとして教育に携わるものとしての使命）
未来を担う（未来を託す）子どもたちの可能性を高め、健やかな成長を支えること

「夢を育む感動体験」により

- ① もっと知りたい！もっと学びたい！という「好奇心」
- ② もっとできるようになりたい！もっとよくなりたいたい！という「向上心」
- ③ もっとみんなと共に活動したい！もっとみんなの役に立ちたい！という「公共心」を育み、確かな学力と思いやりの心を身に付けさせる。

目指す児童像

- すずんであいさつや返事ができる子
- 目標をもち、努力を続ける子
- 自他のおよさを認め、自分も友達も大切にできる子
- 感謝の念をもち、自分にできることを返していく子

学校教育目標

社会構造や生活様式が急速に変化する「予測困難な時代」をたくましく生きる日本人とし、持続可能な社会の実現に向けて、多様性を理解・尊重し、自ら課題を解決する力や豊かな人間性、社会性の基礎を培う。

◇考える子 ◇やさしい子 ◇つよい子

目指す教師像

- 子供一人一人を大切に、温かく熱意のある指導ができる教師
- 日々向上心をもち、授業で勝負する教師
- 子供の成長を喜び、教師としての職務にやりがいと誇りをもてる教師

目指す学校

ともだちみんなで くふうしあって もてる力を未来へ ちからいっぱい出せる学校

- ☆子どもたちの笑顔と喜びがあふれ、活力ある誇れる学校・・・「すずんで学び、分かる・できる喜び」「関わる喜び・」「認められる喜び」「成長する喜び」が味わえる学校
- ☆保護者・地域が信頼をよせ、誇れる安心・安全な学校・・・安全管理が徹底され、いじめや不登校、体罰、服務事故のない学校。
- ☆教職員が誇りをもって生き生きと働く学校・・・子供の成長を共に喜び、切磋琢磨し合える教師集団が協働する学校。

かしこい子～キャリア教育の充実～

- ① 学習規律の定着（徳持スタンダードの徹底）
- ② 一人一台の端末の活用を推進し、児童に確かな学力（基礎的・基本的な学習）を定着
- ③ 新学習指導要領に基づく指導の充実（主体的・対話的な学習、地域や企業と連携した学習、プログラミング教育、職業に関わる教育）
- ④ 家庭・地域・企業と連携した学習の推進
- ⑤ 個に応じた指導 習熟度別指導（算数）問題解決学習・ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業 体験活動の充実
- ⑥ 理科指導専門員・理科支援員による科学教育の充実。
- ⑦ 保幼小中連携教育の充実、キャリアパスポートの活用。
- ⑧ 読書目標の設定（読書月間年に2回）
- ⑨ 家庭学習の習慣化

やさしい子～人権教育の充実～

- ① 児童を第一に考えた、親身であたたかな指導による学年・学級づくり
- ② 規範意識の向上（徳持スタンダード・規範意識向上プログラムの活用）
- ③ 挨拶運動の実施
- ④ 異学年交流（きょうだいクラス活動・登校班・クラブ活動等）
- ⑤ 校内委員会を核とした特別支援委員会の充実
- ⑥ 幼稚園・保育園・中学校・高齢者との交流、障害者理解、異文化理解により心のバリアフリー
- ⑦ 定期的な「いじめアンケート」「いじめ防止対策委員会」による未然防止と早期発見・早期対応。
- ⑧ 生命尊重の指導、認め、ほめる指導による自他を大切にする心情・態度。
- ⑨ 自己肯定感、自尊感情の育成。

つよい子～健康教育の充実～

- ① 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」月間 歯磨き指導
- ② 長縄、短縄、持久走（マラソン月間・校内マラソン）等全校取組、体育的活動の充実
- ③ 体育・健康教育授業地区公開講座の実施
- ④ 大田区小学生駅伝大会への取組
- ⑤ 部体力調査の実施
- ⑥ 保健指導・保健学習・学校保健委員会、がん教育による健康指導の充実。
- ⑦ 食への理解による食育の充実。

魅力ある教育環境づくり

安全・安心の向上

- かけがえのない大切な「いのち」であることの指導を徹底
- 常に災害時等の対応を念頭に置き、毎月の避難訓練・安全点検
- 薬物乱用防止教室・交通安全教室・セーフティ教室等の実施

特別支援教育の充実

- 特別支援委員会の充実（配慮を必要とする児童への組織的な対応、サポートルームの活用）
- 副籍児童との交流

教職員の資質向上

- 児童の人権を尊重し、共感的理解に基づいた指導で体罰根絶に努める。
- 日常的に遵法意識を徹底し、服務事故の防止に努める。
- 校内・校外の研修を通して、自己の課題の解決を目指すと共に、自己研鑽によって、自らの力量を高めていく。
- 教育公務員（教育のプロ）としての自覚をもち、その場に応じた対応や言葉遣い、服装に気をつけて、保護者の信頼を損なわないように常時心掛ける。

家庭・地域の連携

- ◆学校公開（学期一回）
- ◆保護者・地域教育連絡協議会等の外部評価
- ◆徳持応援団（学校支援本部）によるサマースクール等の実施
- ◆PTA・地域による地域行事への参加
- ◆学校防災活動拠点運営の支援
- ◆地域スポーツクラブ（TSA）との連携
- ◆教育相談の充実（関係諸機関との連携）